

埼玉親善大使・フィンドレー大学奨学生レポート 8月
エンジニアとして初めての実務経験

■ 自己紹介

2012年度フィンドレー大学奨学生の荒瀬勇です。早稲田大学基幹理工学部機械科学航空学科に所属しており、塑性加工学の研究をしています。今回の留学の目的は、“生きた英語の習得とエンジニアとしての成果を出す”ことです。この機会を通じ、自分の基盤を築き上げたい、と思っています。

さて、今回の留学では、フィンドレー大学での授業とインターンシップの両方に参加させて頂いています。その二点について詳しくお話させていただきます。

■ インターンシップ (Nissin Brake Ohio)

フィンドレーに到着した一週間後には、早速インターンシップが始まりました。前年度奨学生の方々のプロジェクト“工作機械に用いられる切削油のリサイクル”を引き継ぐ予定です。そのプロジェクトに取り組む前に、現在はメンテナンス部門や検査部門と共に行動させて頂いています。工場内では、鑄鉄部門とアルミ部門に分かれています。その中でも鑄鉄部門のメンテナンスと出来上がった製品の検査を行っています。鑄鉄部門では、二輪と四輪自動車に用いられるディスクブレーキを製造しており、鑄造を除く全ての加工が行われます。最後には、亜鉛めっき処理が施され、組み立てられます。

そこで、新しく製造ラインを導入するために、フェンスの組立を任せられました。まず、ドリルでコンクリートに穴を開け、そこにネジを締め付けることによって地面に固定させます。大学では経験したことがなかった作業だったので、非常に勉強になりました。また、機械の故障が起こるたびに、どこが故障して、なぜ故障して、どのように修理すべきなのか、という事を英語で聞き取るのは非常に苦労しますが、生きた英語を学ぶという面でも充実した時間を過ごしています。



メンテナンス部門の方々と



コンクリート穴あけ作業

■ IELP(Intensive English Language Program 集中英語コース)

フィンドレー大学では、英語のクラスを履修しています。この英語のクラスでは、6カ国以上の生徒が集まっており、様々な国の国民性と文化を学ぶこともできます。私の中での目標は、“色々な国の人と友達になることで、お互いの歴史や文化をアウトプットし合う”ことです。そのために、積極的に話しかけ、授業外でも英語を用いてお互いの国について討論しています。

現在、私はReading、Listening、Communicationの三つの授業を履修しています。ListeningやCommunicationの授業では、二週目に早速プレゼンテーションを行うなど、アウトプットの機会がたくさん与えられています。また、Readingでは、母語が異なる人とペアを組んで、議論を交わすなど日本の英語の授業では経験できないことが行われています。

■ 一週間のスケジュール

最後に、現在の一週間のスケジュールは以下のようになっています。

一週間のスケジュール

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
10:00~10:50					Reading
11:00~11:50	Listening	Communication	Listening	Communication	Listening
12:00~12:50					
13:00~13:50		Reading		Reading	
14:15~18:00	Internship	Internship	Internship	Internship	Internship